

佐久市立国保浅間総合病院評価委員会 議事録

日時：令和7年11月19日（水）

午後1時30分～午後2時30分

場所：浅間総合病院 中央棟講堂

出席者：佐久市立国保浅間総合病院評価委員5名

病院事業管理者1名

事務局（事務長、看護部長、総務課長、医事課長、地域医療室長、在宅支援室長、経営戦略室係長、総務係長、施設係長、経理係長、用度係長、医事係長、情報管理係長、経営戦略室係員）15名

1 委嘱書交付

2 開会

3 委員長あいさつ

4 会議事項

（1）令和6年度決算状況について

（委員）

内科医師の不足が課題とされていますが、収益を向上させるためには何人の内科医師が必要だとお考えでしょうか。定員はないかもしれませんが、収益面から見た理想の人数はありますか。

（病院事業管理者）

内科の収益が全体を引っ張るイメージがあること。また、今後在宅医療の必要性が更

に高まることなども鑑みると、理想は5名程度の追加が必要であると考えております。

なお、来年度は非常勤医が常勤医に変わるなどの理由により、常勤医に3名が加わる予定です。

（委員）

産婦人科は評判が非常に良いと伺っております。収益が増加している効果は、主に無痛分娩の導入によるものと考えてよろしいでしょうか。

（病院事業管理者）

無痛分娩を始めたことは一つの要因になりましたが、更に大きな要因としては、医師の増員です。昨年1名、今年1名と増員した結果、全体の人数が増加し、手術の数や種類が増えています。

（委員）

無痛分娩は、現在どのくらいの実施率でしょうか。

（病院事業管理者）

今年度は約100件程度実施しています。出産全体が約400件程度であるため、およそ4人に1人が無痛分娩を利用している計算になります。

（委員）

佐久医療センターでは無痛分娩を実施していないのでしょうか。

（病院事業管理者）

佐久医療センターは現時点では実施していませんが、将来的には、佐久医療センターや小諸医療センターも含め、地域全体で無痛分娩が実施できるようになるだろうと考えています。

（２）令和７年度経営状況について

（委員）

市から一般会計による繰入が毎年あるかと思います。令和６年度の繰入額は約１２億円とのことですが、令和５年度はいくらでしたでしょうか。

（事務局）

令和５年度の繰入額は約１０億２０００万円程度でございます。

この繰入額は、公立病院としての使命に基づき、救急や周産期医療など、実施が義務付けられている事業の収支が考慮されています。全ての科が赤字であるから繰入が行われるのではなく、繰入基準内の公的な使命を持つ事業に対しての繰入となります。

（委員）

医業費用が医業収益を超過する状況が続いています。赤字の最大の原因となっているのは何でしょうか。

（事務局）

医業費用のうち、圧倒的に多いのは給与費でございます。昨年度１０月末現在の医療費用が約３７億円に対し、そのうち給与費用が２３億円を占めている状況です。

（委員）

30 年前には給与比率が 60%を超えると経営が困難になると聞いておりましたが、現在の給与比率は 75%であり、今後下がる見込みはないのでしょうか。

（病院事業管理者）

人事院勧告に従って給与の増額を考慮する等の理由から、給与比率が下がる見込みはないと考えています。

（委員）

先ほど述べられた給与費は今年度の金額でしょうか、それとも昨年度のコツ額でしょうか。他年度の給与費についても教えていただけますか。

（事務局）

約 23 億円は昨年度のコツ額です。今年度は約 25 億円で、前年度より 1 億 3600 万程度増加しています。

（委員）

給与費の増加傾向は続いているのでしょうか。

（事務局）

給与費は右肩上がりに増加している状況でございます。

(3) 浅間総合病院経営強化プランに対する実績等について

(委員)

非常に良い実績が見えており、日々の努力に感謝しております。不祥事の件は残念でしたが、職員の皆様が一生懸命取り組んでいらっしゃると思いますので、今後は必ず改善できると信じています。

医師の体制等の課題があると思いますが、救急車の早急な受入れは可能になるのでしょうか。

(病院事業管理者)

現在の救急患者の中心は高齢者であり、発熱など内科疾患の患者さんが多くなっています。内科医師の不足は課題となりますが、来年度からは増員により、改善できる見込みと考えております。

(委員)

入院に至る患者の経路（外来、紹介、救急）について、それぞれの経路が占める割合を教えてください。

(事務局)

現時点では割合の集計は行っておりません。後日、資料としてまとめて皆様にお送りいたします。（※ 集計結果は、各委員に送付済み）

(委員)

質問の意図としては、医療機関からの紹介率についてお伺いしたいところでした。今後は、どの程度の紹介率を目指すのでしょうか。

（病院事業管理者）

当院では診療科によって、主に外来や救急から入院になる診療科があります。そのため、病院全体として紹介率の目標数値を設定するのは困難な部分がありますが、なるべく紹介を受け入れられるよう努めてまいりたいと考えています。

（委員）

経営改善において人件費が最大の課題だと認識しています。人件費削減に関してどのような計画があるか伺いいたします。

（病院事業管理者）

経営コンサルタント会社に適正な職員数の計算を依頼したところ、現在の病床数に対して職員数が過多であるとの返答を受けました。今後は、5年を目途に、定年退職や採用抑制等により人件費の抑制を図る予定です。

（委員）

いつも浅間病院に通院や入院されている方から、感謝の言葉を預かってきました。その方は「本当に皆さんによく見ていただいて、親切で、こんなに良い病院が近くにあるって、安心して医師にかかれて嬉しい」と、このことだけは伝えてほしいと言っていました。どんな時でも嫌な顔一つせず対応してくれたことに、大変感謝しておりました。

5 閉会

以上